

市長の

やまがた自慢

「山形仏壇」



城下町山形市には多くの伝統的工芸産業がありますが、今回は山形仏壇をご紹介します。山形仏壇の歴史は古く、江戸時代、元禄年間（1688年〜）に京都から伝えられたのがはじまりと言われてます。山形市周辺は森林資源に恵まれるとともに、良質な漆が採れたこともあり仏壇の生産が盛んになりました。高い技術を身につけた多くの職人が誕生し技術を磨き、関東以北の一大産地としてその地位を確立しました。

山形仏壇の生産過程の特徴は、完全に独立した七つの専門職人による分業体制（木地、宮殿、彫刻、金具、塗り、蒔絵、箔押し組）です。分業体制によってそれぞれの技術が極限まで高められ、ケヤキを使った「ほぞ組」による頑丈な造りや、精密な宮殿と彫刻、黒金具の落ち着いた輝き、温かな木目調の漆塗りなど、それぞれに素晴らしい職人技を感じることが出来ます。

また、仏壇の技術の応用により神輿も古くから製造されてきました。平成26年、山形県仏壇商工業協同組合が高度な技術力と山形仏壇の魅力を発信するために「山形伝統工芸御輿」を製作しました。こちらは花笠まつりなどで披露されるとともに、市役所1階ロビーに展示されていますので、ぜひ職人の技術をご覧いただきたいと思います。



山形市長 佐藤孝弘

未来をひらく

人と企業

今回は、設計部 制御設計課で技術職として働く入社3年目の村上遥輝さんにお話を伺いました。

「東京での6年間を経て」 山形で働くという選択

「どんな仕事をしたいか」だけでなく「どんな暮らしをしたいか」も大切にしたいと思い、Uターン就職を選びました。最初は会社名の「精密」という言葉に興味を持ち、世界トップレベルの技術力など、調べるほど魅力を感じ、「ここで働きたい」と思うようになりました。今振り返ると、運命の出会いでしたね。

「山形から世界へ」 若手の挑戦を応援してくれる会社

大学院で学んだ知識を土台にしながら、実務では勉強の日々です。以前は見えていなかった機械の仕組みが少しずつ分かるようになり、自分の成長を実感しています。最近は海外の案件も担当し、日本と海外のニーズの違いを学ぶことも面白さの一つです。また、「もっと機械について学びたい」と希望した際には、機械の組み立てや操作について3カ月間学ぶ機会をいただきました。「チャレンジ、チェンジ」を合言葉に、若手の挑戦を応援してくれる会社です。

インタビューの詳細はこちら



うちの会社の

ココが良いいところ

高い技術力だけでなく、人を大切に育てる企業風土も当社の魅力です。フレックスタイム制度の導入や男性の育児休業取得率100%（2025年度）など、誰もが働きやすく、長く活躍できる職場環境が整っています。

ミクロン精密株式会社

「蔵王から世界へ」を経営理念に掲げ、世界各国へ高精度な工作機械を送り出しています。地域貢献に取り組む企業として、「やまがたAI部」への参画などを通じ、山形市とともに次世代人材の育成に取り組んでいます。

自動車や新幹線などのものづくりを支え、日本一の芋煮会のショベルカーにも技術が生かされています。

ミクロン精密株式会社ホームページ▶



たくさんある山形市の魅力ある企業のなかで、若手社員が生き生きと活躍する様子をご紹介します。
問 男女共同参画センター
(☎645-18077)